

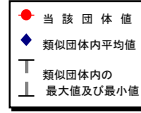
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

福島県大熊町

経常収支比率の分析

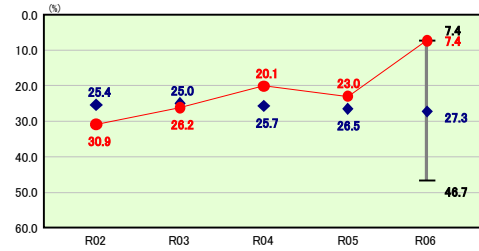
人口	9,944人	(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	9,884人	(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	78.71km ²		実質公債負担比率	-1.0	%
歳入総額	48,996,247千円		将来負担比率	-	%
歳出総額	42,475,175千円		市町村類型	R02 I-0 R03 I-2 R04 I-2	
実質収支	334,739千円		(年度毎)	R05 I-2 R06 I-2	
標準財政規模	6,882,576千円				
地方債現在高	0千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

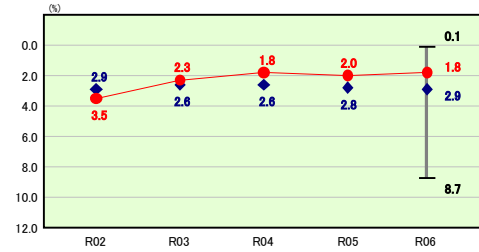
類似団体内順位 1/94 全国平均 26.6 福島県平均 25.7



人件費の分析欄
 令和6年度は人件費に市町村特定原子力施設地域振興交付金を充当したため、一般財源の比率が大きく減少したことにより伴い、経常収支比率も大きく減少した。

扶助費

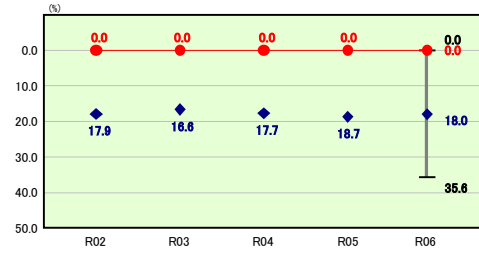
類似団体内順位 35/94 全国平均 13.4 福島県平均 8.4



扶助費の分析欄
 ここ数年、比率に大きな増減はない。引き続き資格審査等により適正なサービスを提供できるように努める。

公債費

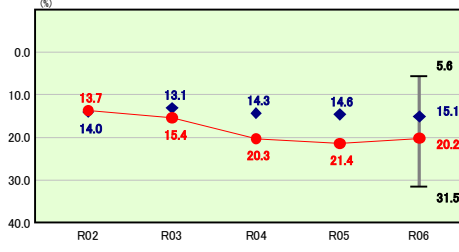
類似団体内順位 1/94 全国平均 15.0 福島県平均 14.6



公債費の分析欄
 地方債について、当面の間起債の予定はない。今後も現在の財務状況を維持できるよう、事業の適正な執行に努める。

物件費

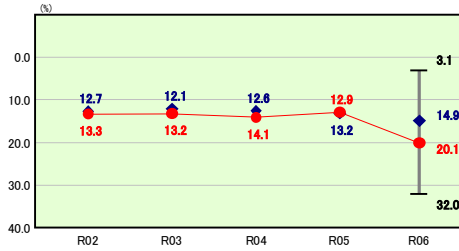
類似団体内順位 78/94 全国平均 15.6 福島県平均 17.0



物件費の分析欄
 前年度と比較し、1.2ポイント減少し、類似団体平均値に近づいた。復興事業が進むにつれ、管理費等が増加することで比率に影響が出ている。

補助費等

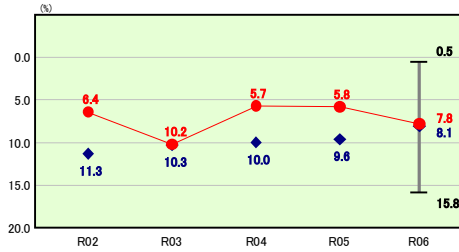
類似団体内順位 75/94 全国平均 10.7 福島県平均 13.2



補助費等の分析欄
 前年度と比較し、7.2ポイントの増となった。町内居住人口を増やすため、移住定住促進事業等による補助費の増加に伴うものと推測される。

その他

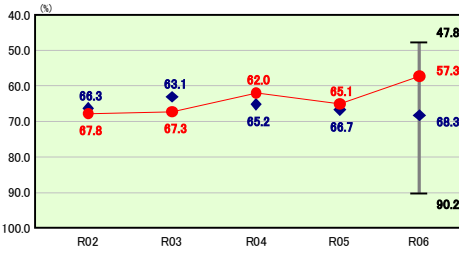
類似団体内順位 45/94 全国平均 12.5 福島県平均 12.5



その他の分析欄
 前年度と比較し2ポイント増加し、類似団体内の平均値とほぼ同数値となった。今後も引き続き経常経費の抑制に努める。

公債費以外

類似団体内順位 7/94 全国平均 78.8 福島県平均 76.8



公債費以外の分析欄
 前年度と比較し7.8ポイント減少した。復興事業による公共施設の整備また、町内人口の増加に向けた補助事業等により比率が増えるが見込まれるが、特定財源の確保また整理等により経費の削減をねらい、安定的な財政運営ができるよう適正化に努める。